

2020年度 臨地看護学実習の実施状況について（まとめ）

学年	実習名	時期	実習期間	実施状況
1年生 (83名)	看護初期実習	前期	1週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
	基礎看護学臨地実習 I	後期	1週間	臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点：臨地実習日数を3日間から2日間に、臨地実習時間を全日から半日に短縮した。残りの学習はオンラインと少人数制による学内技術演習で実施した。
2年生 (83名)	基礎看護学臨地実習 II	前期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
	成人看護学臨地実習 I	後期	3週間	臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点：臨地実習日数を15日間から7日間に、臨地実習時間を全日から半日に短縮した。残りの学習はオンラインと少人数制による学内技術演習で実施した。
3年生 (77名)	老年看護学臨地実習 I	前期	1週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
	成人看護学臨地実習 II	前期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
	在宅看護学臨地実習	前期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
	精神看護学臨地実習	前期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
	小児看護学臨地実習	後期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
	母性看護学臨地実習	後期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
	老年看護学臨地実習 II	後期	2週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインで実施した。
4年生 (90名)	公衆衛生看護学臨地実習 I (選択制29名)	前期	7週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインと少人数制による学内技術演習で実施した。
	公衆衛生看護学臨地実習 II (選択制29名)	前期		臨地実習を学内実習に変更した。オンラインと少人数制による学内技術演習で実施した。
	ヘルスケア マネジメント実習	後期	3週間	臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点：臨地実習時間を全日から半日に短縮した。残りの学習はオンラインで実施するとともに、自己学修課題を課した。
助産学 専攻科 (9名)	助産学実習 I	前期	3週間	臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点：事例の受け持ち期間を「妊娠期から産褥5日間+1ヶ月健診」から「入院時から分娩、産褥5日間+1ヶ月健診」に短縮した。残りの学習はオンラインと少人数制による学内技術演習で実施した。
	助産学実習 II	前期	3週間	臨地実習を実施した。感染拡大に伴い、分娩介助件数は4~5例にとどまったため、オンラインと少人数制による学内技術演習を追加した。
	助産学実習 III	前期	3週間	臨地実習を学内実習に変更した。オンラインと少人数制による学内技術演習で実施した。
	助産学実習 IV	後期	2週間	実習期間中に感染が急拡大したことに伴い、臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点：①ハイリスク妊婦、②ハイリスク新生児の受け持ちを中止し、学内実習とした。③助産所実習は期間を短縮、④地域母子保健実習（別海町）は中止し、オンラインと少人数制による学内技術演習を追加した。
	助産学実習 V	後期	1週間	臨地実習の方法を一部変更し、実施した。 変更点：臨地実習日数を4日間から2日間に、臨地実習時間を全日から半日に短縮した。残りの時間はオンラインと学内技術演習で実施した。

注1) オンラインによる学内実習は、各看護学臨地実習の目的・到達目標に適した紙上事例、映像事例、ナーシングスキルDVD、ゲストスピーカー等の組み合わせにより構成した。変更に関するガイダンスを事前に行った。

注2) 少人数制による学内技術演習は、生体シミュレータ等を活用した。

注3) 助産学実習の実施前に、学生及び実習担当教員はPCR検査を受検した。